



R2/4/2~R2/7/31 生まれ：任意予防接種

R2/8/1 生まれ以降：定期予防接種

ロタウイルス予防接種について

○ロタウイルス胃腸炎とは？

ロタウイルスは5歳以下の乳幼児にみられる胃腸炎の原因のひとつです。その感染力は強く、一般的な手洗いなどでは予防が難しいため、乳幼児のうちにほとんどの子どもが感染します。ロタウイルスによる胃腸炎が重症化すると、入院することもあり、また、まれにけいれんや脳炎を引き起こすことがあります。

○ワクチンについて

ロタウイルスワクチンは2種類あり、どちらも生ワクチン（弱毒化したウイルス）で、飲むワクチンです。2種類とも、予防効果や安全性に差はありませんが、接種回数が異なりますので、他のワクチンとの接種スケジュールなどを考慮して選択してください。なお、途中からワクチンの種類を変更することはできませんので、最初に接種したワクチンを2回目以降も接種します。このワクチンは、ロタウイルス胃腸炎の発症を7~8割減らし、入院するような重症化は、そのほとんどが予防できます。

ワクチン名	ロタリックス【1価】	ロタテック【5価】
接種時期	生後6週から24週まで	生後6週から32週まで
	※どちらのワクチンも、初回接種を生後14週6日までに行う	
接種回数	2回接種	3回接種
	※どちらのワクチンも、4週以上間隔を空ける	

※令和2年9月30日までに本ワクチンを接種した場合、同時接種を除き、他のワクチンとの接種間隔は27日以上あけるようにしてください。

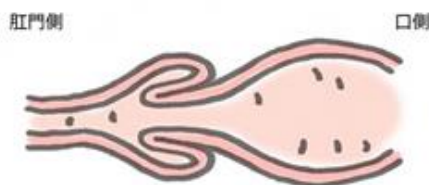
○ワクチンを接種する前に

お子さんのお腹がいっぱいと、上手にワクチンが飲めない場合がありますので、接種前30分ほどは授乳を控えることをおすすめします。また、ワクチンがうまく飲めなかったり、吐いたりしてしまった場合でも、わずかでも飲み込みが確認できていれば、再度接種する必要はありません。なお、ロタリックスについては、吐き出してしまった場合に、自費で再度の接種を受けることはできますが、お勧めしていません。ロタテックについては、自費であっても、再度の接種は行われないこととされています。

○ワクチンの副反応について（腸重積症）

ロタウイルスワクチンの接種を受けてから約1~2週間は腸重積のリスクが通常より高まる可能性があります。

腸重積とは、口側腸管が肛門側腸管に引き込まれ、腸管壁が重なり合った状態によって引き起こされる疾患です。ワクチン接種の有無に関わらず、0歳のお子さんがかかることが多い病気です。治療については、軽症・中等症の場合は出血を伴わない治療をしますが、外科的な手術が必要となる場合もあります。以下のような症状が1つでも見られた場合は、速やかに医師の診察を受けるようにしてください。



- 泣いたり不機嫌になったりを繰り返す
- ぐったりして顔色が悪くなる
- おう吐を繰り返す
- 血便が出る

その他ぐずりや下痢、おう吐、咳・鼻水などが副作用として報告されています。接種後は健康状態の観察を行い、体調の変化に注意してください。